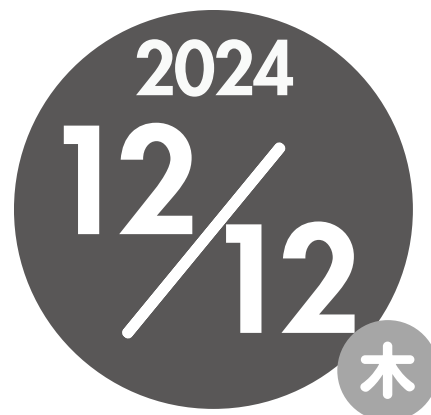


イスラエルの占領と虐殺に制裁を！  
パレスチナの国家承認を！



# 緊急院内集会

12:00 ▶ 14:00 ※11:30より通行証配布

場所

参議院議員会館 101会議室

参加費

なし

報告

“復活”したトランプと中東  
高橋和夫さん（国際政治学）

発言

在日パレスチナ人のスピーチ  
各地の市民の取り組みから  
国会議員より一言



国際政治学者の  
高橋和夫さん

イスラエルによる攻撃開始から14ヶ月。パレスチナ・ガザ地区は廃墟と化し、死者は5万人をはるかに超えました。その約7割は女性と子どもです。

ネタニヤフ政権は、民間人に爆弾や砲弾を浴びせながら、食糧や水、医薬品、燃料などの搬入を妨害。ガザ住民220万人のほとんどが飢餓と疫病にさらされています。ICC（国際刑事裁判所）が、ネタニヤフ首相とガラント前国防相に「戦争犯罪と人道に対する罪の容疑」で逮捕状を発行したのは当然です。

また、イスラエルはパレスチナ・ヨルダン川西岸地区での入植地を暴力的に拡大しています。ICJ（国際司法裁判所）は、これらの占領政策を「国際法違反」と判断しましたが、トランプ次期米大統領は入植地拡大を支持しています。

このような暴挙に対し、世界中の市民からは反対の声が上がっていますが、各国のほとんどの政府は具体的な行動を起こしていません。軍事・経済的にイスラエルと協力関係にある日本政府には、イスラエルの暴走を止める責任があります。

イスラエルから武器を買わない、軍事協力をしない、経済連携を止めるなど、今こそ制裁を科すべきです。また、パレスチナの人々が自らの土地で人間らしく生きることができるよう、「パレスチナ国家」を承認すべきです。

市民の皆様も、ぜひ会場にお運びいただき、イスラエルへの制裁とパレスチナの国家承認に向け、国会議員に声を届けましょう。

主催：パレスチナに平和を！緊急行動／協力：平和をつくり出す宗教者ネット  
連絡先：03-3221-4668